

東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



インスピレーションになるう

「ロータリーを味わおう！！」

2018年～2019年度 会長
藤田 哲朗

「インスピレーションになろう」

2018年～2019年度 国際ロータリー会長
バリー・ラシン

ロータリー親睦活動月間

2019年6月25日発行(No. 914)

第914回 例会

「クラブ協議会・ハンマータッチ」

CLUB NEWS

- ◆ 6月19日(水)ハイアットリージェンシー東京で開催された「地区納めの会」に、藤田会長、菊池幹事、大牟田地区職業奉仕委員長、長與地区日台親善委員長、志熊地区青少年交換委員が出席致しました。
- ◆ 2019年7月1日からの国際ロータリー為替レートについて、RI本部より下記のとおり通達がありました。「2019年7月1日より、国際ロータリーの為替レートは、毎月の初日における市場実勢相場に基づくこととなります。このため、事前に新しいレートをお知らせすることができなくなることをご了承ください。この変更は、世界各地の会員にとって最も正確な市場を反映したレートをご提供する最善の方法であると考えています。ご理解をよろしく願いいたします。」国際ロータリー為替レートは、My ROTARYの為替レートページよりご確認ください。
<https://my.rotary.org/ja/exchange-rates>
- ◆ 東京池袋ロータリークラブより、創立60周年記念誌並びに「としまこどもカルタ地図」が届いております。閲覧希望の方は事務局までご連絡願います。
- ◆ 先の2019年規定審議会での決定に当たり、米国本部にて、『クラブと地区に関連する重要な変更』が発行されました。

前回例会

第913回例会

「次年度委員長の方針発表」②

出席状況

第913回例会

出席 31名 欠席 14名
ビジター 3名 ゲスト 0名

本村哲氏(東京小石川)
原英達氏、仁平範昭氏(東京小石川)
出席率:71.43% 前例会修正後:95.35%

ニコニコBOX

本村・原・仁平氏(東京小石川):藤田会長、菊池幹事
1年間ご苦労様でした。
戸部会員:藤田会長、菊池幹事、来週はいよいよハンマータッチですね。20周年式典開催にあたり、多忙な年でした。ゴールまであと少しです。1年間有難うございます。

ミリオンマイルズ:2,369円
本年度合計:1,184,105円

例会案内

7月2日 「新年度初例会・クラブ協議会」
7月9日 卓話「東南アジアの子どもたちの輝く瞳に学ぶ」
CSRスクエア 宍戸 仙助 氏
7月16日 休会

藤田直前会長・菊池直前幹事慰労会 並びに
創立20周年記念式典お疲れ様会 のご案内

日時: 7月11日(木) 午後6時30分～
場所: 東京ドームホテル 4階 たん熊

親睦活動委員会

- ☆ 20周年記念誌掲載用の会員の所感を提出されていない会員は、至急メールで事務局に提出願います。
- ☆ 次年度の事業計画書の提出は、お早目に事務局までメールで提出願います。

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株) 別館内

会長 藤田 哲朗 / 幹事 菊池 修一郎 / 会報委員長 戸部 昇

URL <http://korakurotary.com>

第909回 例会「創立20周年式典 会歌練習」

日本合唱指揮者協会副理事長 名島 啓太 氏

会歌を10年間欠かさず歌って頂いたと伺い非常に感激しております。卓話ですが私が解るのは音楽の事だけなので音楽の話をして頂きます。人生100年時代と言われて、自治体で生涯学習施設の充実が図られています。ある文化会館の紹介文を見ると館内には音楽やダンス・演劇・絵画・彫刻など様々な創作活動が行えます。スタジオやアトリエ、多目的な作品が展示できるオープンギャラリーなどを用意しています。又若手アーティストの活動の拠点となるレジデンススペースやカフェをご用意し区民の芸術文化活動の発信交流を目指します。このようなことが書かれています。でも指導する人間から見ると非常に危険な文章に感じます。例えば絵画の人達は防音などという事は考えないと思います。音楽をやる人はその音がどうあるかという事を考えます。絵画教室と音楽が同時にできるスペースは大丈夫なのかと心配になります。たとえば金属を加工して造形作品を作る芸術の場合は、すごい音がしその音と音楽の練習が同じフロアで成り立つのか、たいていは廃校になった小学校の一角を文化スペースに作り直して用意されるのが一般的です。音楽と美術を並べてみて違いは何かというと、視覚に訴えるか聴覚に訴えるかという違いです。私が考える違いは作品の完成後です。美術作品は創作の苦しみは計り知れませんができてしまうと置いておけば良いわけで、見る人がいれば作品として成立します。音楽は曲が完成した後、人を集めて練習し発表会場をおさえて聴衆に来てもらって、やっと成立します。音楽と美術ひとくくりにされると困る面が沢山あります。私の経験ではチャリティーで作品を提供してくれという話があると画家のAさんは応じてくれたのに作曲家のBさんは協力的ではないという事態が起きます。画家のAさんは一生懸命書けばいいのですが作曲家もチャリティーでやりたいという気持ちのある人ばかりだと思うのですが、音楽は曲を書き上げた後なんです。チャリティーで演奏するとしても人を集める賛同してくれる演奏者を集めなければならない。合唱曲もオーケストラも複数の人間に係るんです。指揮者を決め練習日程を決め会場を決めて練習する。何回か練習しピアノの調律をする。プログラムを作りお客さんに宣伝し、チケット配りと計り知れないです。作品が完成してからの手順が多いのが音楽です。音楽の持つ社会性を理解して頂いて文化芸術活動の一つとして認識をされると非常にありがたいと思います。チャリティーコンサートは何度もやってます。やぶさかではないのですがやはり趣旨に賛同してくれる音楽家を集め練習して、費用も掛かりますので覚悟を決めないとなかなか踏み込めないというところが音楽にはあります。音楽や美術作品を自分の物にするという意味ですが、美術作品というのは自分で購入すると自分の物だという愛着が育っていきやすいと思います。音楽というのはベートーベンのCDを買ってもベートーベンが自分の物になった気がしない。楽器は美術作品に近いと思います高島さんが2億円のストラディバリウスを買ったするとそれは高島さんの楽器という気がし楽器は美術作品にすごく似ているところがあります。音楽はそのものを自分の物にするというのは難しいと思います。皆さんに会歌を聞かせて頂くのを楽しみにしています。この曲は皆さん自分の音楽と思っているのではないのでしょうか。10年間歌い続けて自分達の物になっています。音楽作品を演奏したり歌ったりという参加することが本当の意味で音楽を楽しむという事になると思います。私も指揮者として自分のレパートリーと思える作品は食べるように楽譜を読んで何回も演奏した曲が自分のレパートリーだと感じます。後楽ロータリークラブ会歌の在り方を考えても、音楽に参加して本当の意味で味わって会歌を自分の物にして頂きたいと思います。結論は音楽を身近にして頂きたいと願います。



創立20周年記念式典・記念祝賀会アルバム



司会 財津・住田会員 点鐘 藤田会長 国歌斉唱 指揮金子会員 会歌斉唱 指揮 名島先生



村田実行委員長 チャーターメンバーの紹介 松坂ガバナー 成澤文京区長



小石川本村会長 台北景福RC鄧 木榮会長の挨拶と調印式



記念寄付 ロータリー財団 地区米山記念奨学会委員長 希望の風奨学会 日本ブラインドサッカー
松坂ガバナー 比留間 孝司 委員長 百目鬼 健 会長 佐藤 豪運

記念祝賀会



司会 中島・本多会員 事業報告 長與事業委員 後楽RC最高齢住田氏による乾杯

各テーブルにて



創立20周年記念式典・記念祝賀会アルバム



創立20周年記念式典・記念祝賀会アルバム



創立20周年記念式典・記念祝賀会アルバム



閉会 次年度中村会長



チアガール三本締めめでめでたくお開き

